

藤沢市教育委員会 7月臨時会会議録

日 時 2020年（令和2年）7月31日（金）
午後2時00分
場 所 市民会館第1展示集会ホール

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 議 事
 - (1) 議案第18号 令和3年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について
 - (2) 議案第19号 令和3年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について
 - (3) 議案第20号 令和3年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について
- 4 閉 会

出席委員

1番 岩本將宏
2番 大津邦彦
3番 飯島広美
4番 木原明子
5番 市村杏奈

出席事務局職員

教育次長	須田泉	教育部長	松原保
教育部参事	佐藤繁	教育指導課長	坪谷麻貴
教育指導課主幹	岩田守	教育指導課指導主事	丸谷英之
教育指導課指導主事	納富崇典	教育指導課指導主事	森谷真佐美
教育指導課指導主事	植松梢	教育指導課指導主事	藤本伸一
教育指導課指導主事	中村田		
書記	鈴木憲二郎		

岩本教育長

ただいまから藤沢市教育委員会 7 月臨時会を開会いたします。

会議の開催に当たり、藤沢市教育委員会傍聴規則第 6 条第 4 項にあります写真撮影について、報道機関から事前に申請がありましたので、これを許可することといたします。傍聴人におかれましては、傍聴券の裏面に記載しております遵守事項であります(1)飲食し、または喫煙しないこと。(2)議事に対し批評を加え、または可否を表明しないこと。(3)みだりに傍聴席を離れないこと。(4)写真、ビデオ等を撮影し、または録音しないこと。(5)会議場の秩序を乱し、または会議の妨害となる行為をしないこと。以上、5 点を守っていただき、円滑な議事進行のため、ご静粛にさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、本日は、新型コロナウイルス感染症対策として、発言の際はマスク着用及び着席のまま行うことといたします。また、会議の途中で適宜休憩を設けることといたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、3 番・飯島委員、4 番・木原委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本教育長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、3 番・飯島委員、4 番・木原委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

これより議事に入ります。

議案第 18 号「令和 3 年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。事務局の説明を求めます。

坪谷教育指導課長

それでは、議案第 18 号「令和 3 年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」を説明いたします。令和 3 年度使用中学校用教科用図書の採択についてでございますが、中学校用教科用図書の採択については、本年度は、令和 3 年度から中学校において使用される教科用図書について、教科書目録の中から協議の上、1 種目につき 1 発行業者のものを採択することとなります。

また、法令によりまして、中学校用教科用図書が基本的に採択替えを行った時点から、4 年間は同じ発行業者のものを採択することになっております。この後、令和 3 年度使用中学校用教科用図書についてご協議いただきますが、採択に当たり、見本のほかに、調査研究の参考としてお使いいただいた資料を確認させていただきます。まず、文部科学省の「中学校学習指導要領」、教科書発行業者が編修の趣意をまとめた「教科書編修趣意

書」、神奈川県教育委員会において調査研究した結果をまとめた「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果」です。

次に、市独自の資料といたしまして、本市教科用図書採択審議委員会からいただいた「令和3年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果について(答申)」、同審議委員会において調査員を任命し、作成いたしました「中学校用(令和3・4・5・6年度用)調査資料」、また、各中学校長の責任のもと、県の調査研究の観点等に沿って、自校の教員に4項目の観点ごとに調査研究させた「令和3年度使用教科用図書調査書」、「令和3年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ」につきましては、その資料を事務局がまとめたものになります。さらに保護者及び市民向けに、藤沢市役所分庁舎2階会議室において、教科書展示会を開催した際にいただいた「令和3年度使用教科用図書意見書」、それをまとめました「令和3年度使用教科用図書意見書一覧表」となっております。

最後に、市民の皆様等からいただいた要望書についても教育委員の皆様にはご覧いただいております。

それでは、提案理由等を説明いたします。(議案書参照)

この議案を提出したのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同法施行令第15条の規定により、令和3年度に新しい学習指導要領の全面実施を控え、中学校用教科用図書については、令和2年度に採択替えを行う必要があるものでございます。本年5月の教育委員会定例会で決定した「令和3年度使用藤沢市教科用図書の採択方針」に基づき、採択する教科用図書につきましては、採択日程に沿って展示の実施、各中学校長による調査研究、審議委員の委嘱又は任命、教育長による審議委員長への諮問、調査員の任命と調査資料の作成を経て、第2回藤沢市教科用図書採択審議委員会におきまして、中学校用教科用図書の審議を行い、種目別にまとめられた審議内容が答申されております。

3ページの別紙は、審議いただく「令和3年度使用中学校用教科用図書発行業者別一覧表」です。議案書につきましては1ページに記載のとおりでございます。以上、よろしくご審議いただき、ご決定くださいますようお願いいたします。

岩本教育長

事務局の説明が終わりました。委員の皆様には、今、事務局が説明しましたさまざまな資料に基づき、これまで調査研究していただきました。

これから協議に入りますが、協議方法について、私から提案をさせていただきます。協議方法については、私たちが調査研究する際に使用した資

料における観点を踏まえ、1. 学習指導要領との関連、内容・構成。2. 分量・装丁・表記等。3. 本市の生徒の実態や地域等の特性との関連。以上3点を軸として、総括的に協議したいと考えます。

なお、教科によって発行業者数が2者から7者までとなっています。そのため、審議に当たっては3者以下の教科については、採択したいと考える1者についてご意見をいただきたいと思います。また、4者以上の教科につきましては、適切と考える者について、1者に限らずご意見をいただきたいと思います。そしてそれぞれ協議を進める中で、1者を決定してまいりたいと考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、そのように進めさせていただきます。

はじめに、「国語」から協議を始めます。発行業者は4者、「東京書籍」、「三省堂」、「教育出版」、「光村図書」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

飯島委員

国語の授業は、言語活動を通して社会生活に必要な事柄について理解できるようにすること、また、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力を養うことが求められています。私はそういう趣旨にふさわしい教科書として「光村図書」を推薦いたします。「光村図書」は優れた教材、読みごたえのある教材を多く集めていて、子どもたちの表現力・思考力・判断力を養う上で適していると思えました。

また、調査資料にもあるように、「話す・聞く・書く」をバランスよく配置していて、さまざまな活動が行えるようになっております。さらに、古文の扱い方に工夫があり、古文に不慣れである1年生に対する配慮も優れております。以上です。

木原委員

私も「光村図書」を選びました。「光村図書」は、表紙の見開きに詩を載せて感性に訴え、学びの導入としてよいと思えました。裏表紙に時や季節を表す日本語、日本のさまざまな色を紹介するなど、日本語の奥深さをふと目にすることができますし、「学習の見通しをもとう」で始まる6ページから11ページまでは、各学年ごとに同じレイアウトで作成され、学年ごとの学習の流れがわかりやすくなっています。用いられている作品が読みやすく、情感豊かで、さらに写真や絵が美しく、生徒の心に響く教材となっていると感じますし、全体のトーンが落ち着いており、柔らかい心で学べるようにつくられていると感じました。

市村委員

私も「光村図書」の教科書がよいと思えました。3学年ともに掲載されている「思考の地図」では、思考を広げるためのマッピングやブレスト、思考を整理するための目的に合った観点決めと整理の仕方、思考を深める

ための分析の仕方などが図や表を交えて載せてあり、主体的な学習への道筋が立てられるのではと思いました。また、あらゆるジャンルの文学がバランスよく掲載されており、さまざまな視点に立って物事を考える力をつけることができると感じました。

各題材のページ下にある「広がる読書」では、例示した本の紹介「本の世界を広げよう」では、豊富な本の紹介があり、読書活動の充実を図る工夫がなされていると感じました。以上になります。

大津委員

各者それぞれ良い点がありますけれども、その中で、私は「東京書籍」がよいと感じました。まず、各学年巻頭で1年では小学校で学んだこと、2年、3年では1、2年で学んだことについて掲載され、学ぶための連続性があることや、振り返ることができる点が良いと感じました。また、その学年で学ぶこと、例えば話すことや書くこと、読むことなどがどの作品が該当するか、見やすく評価されている点や「学びの扉」では、漫画で問題提起し、別のページに解説や考え方を掲載することで、生徒の興味を引きやすい構成になっている点が挙げられます。

さらに、相手の立場に立つことや想像力を養うといったことが、各学年の「学びの扉」で考えられるようになっている点も良いと感じられました。また、情報量についても余り多いと生徒が消化し切れないのではないかと感じられ、その点「東京書籍」は適当であると感じました。以上のような点から「東京書籍」が良いと思います。

岩本教育長

最後に私から意見を述べさせていただきます。「国語」について述べさせていただく前に、教科書採択全般について、私の考えを述べさせていただきます。今回の教科書採択に際しましては、各学校において調査研究をしていただき、「教科用図書調査書」としてまとめていただきました。この調査書は、実際に教科書を用いて授業をする先生方の貴重なご意見ですので、大切な資料として参考にさせていただきました。

また、教科用図書採択審議委員会におきましては、学校長や保護者代表の委員の皆様、調査員による調査研究を参考に熱心なご審議をいただき、藤沢市の子どもたちにふさわしい教科書について「答申」としてまとめていただきました。保護者の立場からの意見なども聞くことができ、大変参考になる内容でした。市民の皆様には、市役所で行われた展示会で大変多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。各教科書に対するご意見とともに、教科書採択全般に関するご意見も多数いただきました。私はこれらのご意見を参考にさせていただきながら、すべての教科書を見させていただき、比較・検討をさせていただきました。そして藤沢市の子どもたちにとって、最も適していると思う教科書を推薦させていただきました。

したので、それぞれについて意見を述べさせていただきます。

それでは「国語」でございます。私は「光村図書」を推薦させていただきます。理由につきましては、文学作品や読み物が多く、読書活動に重きを置いています。また、生徒が文章を書く力を育てるための活動を多く取り入れている点が良いと感じました。全体的に各学年に応じた発達段階に配慮した構成になっているというふうに感じました。以上でございます。

各委員からさまざまなご意見をいただきました。まず、これまでのご意見に対してご質問や追加のご意見等ございましたらお願いいたします。

(なし)

それでは、これまでに委員が選ばれた状況について申し上げます。「光村図書」が4人、「東京書籍」が1人となっております。国語につきましては、一番人数が多い「光村図書」とすることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、国語につきましては、「光村図書」にいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「書写」についてです。発行業者は4者、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」「光村図書」です。

ご意見をお願いいたします。

木原委員

私は「光村図書」を選ばせていただきました。色やレイアウトが全体に落ち着いたトーンでまとめられていると思います。基調にされている薄い青は、気持ちを落ち着かせる色で、授業に向けて自然と気持ちを切り替えやすいのではないかと思います。同様に用いられている薄いピンクも気持ちを和らげる色で、書くことに集中しやすい雰囲気醸し出して、良いと思いました。

市村委員

私も「光村図書」の教科書が良いと思います。学習の進め方がシンプルなスリーステップで構成されており、各項目ごとに注目すべき点を意識させ、毛筆の書き方のポイントを理解し、最後は学習したことを硬筆でも生かすというステップが、とてもわかりやすいと思います。書くに当たって意識すべき筆の動きを、朱筆で表すことによって理解しやすくなっています。ユニバーサルデザインを含め文字の書体が与える印象や場面によって適している書体についてなど、さまざまな視点でとらえられており、日常生活の中で役立てることができるのではないかと思います。以上です。

大津委員

「書写」につきましては、筆や鉛筆を使用して楷書、行書を書くことを3年間で学ぶための教科であり、4者とも内容に大きな違いがないように感じられました。各者とも学習のはじめで筆の持ち方や姿勢についてわか

りやすく掲載されていますが、「三省堂」は筆の持ち方1つを取っても詳しく写真で紹介したり、鉛筆の持ち方も悪い例を載せたりするなど、持ち方の癖を直すために特に丁寧に扱われている点や、筆遣いについても留める箇所や撥ねる箇所もわかりやすく説明していると感じたことです。また、各者、学年ごとにページの色を変えてわかりやすくしていますが、「三省堂」はこの色分けも見やすくなって良いと感じました。以上です。

飯島委員

「書写」ですけれども、国語の時間の中で扱われます。毛筆と硬筆の2つの学習をします。時間的にはそれほど十分な時間が取れないというものですので、効率的に学習ができる教科書がいいなというふうに思っています。そういう意味で私は「光村図書」を推薦いたします。「書写ブック」という小冊子がありまして、毛筆でも文字の書き方を確認しながら、硬筆で繰り返し練習し、書く力を定着させる学習活動に効果的であると考えられるからです。

岩本教育長

最後に私からでございます。「書写」でございますが、私は「光村図書」を推薦させていただきます。理由につきましては、3年間を見通して、文字を正しく書くことについての基本から応用へ段階的に指導できる構成になっています。手紙の書き方や冊子にまとめようなど、日常の生活に活用できる題材が多く扱われているところが良いと感じました。以上でございます。

今、ご意見をいただきました。これまでのご意見にご質問または追加のご意見がありましたらお願いいたします。(なし)

それでは、状況を申し上げます。「光村図書」が4人、「三省堂」が1人、ということで、「書写」につきましては、一番人数の多い「光村図書」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「書写」につきましては、「光村図書」にいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「社会(地理的分野)」についてです。発行業者は4者、「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「日本文教出版」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

大津委員

「地理」は、ただいま説明がございましたように、4者から出版されていますが、いずれも表紙に各地のさまざまな特徴的な写真を掲載するなど、いかにも地理という感じになっています。また、見開きのページも世界各地の写真が掲載されて、とても魅力的になっています。サイズや分量も各者ほぼ同程度となっており、どの教科書を利用しても多くの違いはないように感じられました。その中で1者選ぶとすれば、「帝国書院」が良いと

感じました。

「帝国書院」は、本文の中で重要な言葉やキーワードを太字に表記するなど、わかりやすくなっている点や、この教科書を使いやすくするために巻頭5でこの教科書の学習の仕方を設け、わかりやすく図式化したり、巻頭6では教科書の随所に掲載されるコラム、特設ページ、「未来に向けて」や「技能をみがく」を設けたりして、内容ごとにページがまとめられていて、調べやすさや見やすさにこだわっていると感じました。また、世界各地の人の話が網羅されている点も、各地の特徴を知る上で参考になると感じました。以上の点から「帝国書院」が良いと思いました。

2点目として、「教育出版」はコラム的な「地理の窓」を多く設け、その地域の特性や問題をわかりやすく説明していて、「地理の窓」を読むだけでも楽しく学べるようになってきている点や、食料事情や食文化にも範囲を広げることで、世界とのつながりをより身近に感じられるようにしている点が良いと思いました。以上になります。

飯島委員

私も「帝国書院」を推薦いたします。理由としては、資料と教科書本文とのバランスが良く、見やすいこと、資料の大きさがちょうどよく、またこれについても見やすいこと。それから多面的、多角的な考察ができるような紙面構成になっていること。さらにSDGsという現代的な課題についても適切に取り上げているということです。

木原委員

私も「帝国書院」が良いと思います。地理の教科書は、どの教科書も説明や地図が豊富に掲載されていますけれども、その中でも「帝国書院」は写真と地図の組み合わせ方が的確で、わかりやすいと感じました。また、限られた紙面で写真、地図、文章のレイアウトに工夫がされていて、字も読みやすいと思いました。以上です。

市村委員

私も「帝国書院」の教科書が良いと思います。全体的に写真やデータが非常に多く載せられており、各国、地域の特色をイメージしやすいものになっていると思います。データが2018、2019年と新しいものが多く、現在の状況に即した内容を知ることができます。飯島委員のご発言にもありましたが、持続可能な開発目標であるSDGsは、世界で共通した17の目標ですが、実情や課題は地域によって全く違っており、それがしっかりと伝わる工夫がなされていると思いました。地理的な学習とともに、それぞれの社会が抱える課題やそれに対応した取組を知ること、生徒が多面的・多角的に考える力を身につけることができるのではないかと思います。以上になります。

岩本教育長

最後に私から、「社会（地理的分野）」でございますが、私は「帝国書院」を推薦させていただきます。理由につきましては、生徒が主体的に学べる

よう資料の配置が適切で、情報量も豊富であると思います。資料と本文のバランスが良く、生徒が多面的・多角的に学習することができる構成になっています。関東地方の工業の情勢についての学習では、藤沢市が扱われていて身近に感じられるというふうに感じました。以上でございます。

ただいまご意見をいただきましたけれども、何かご質問・ご意見がございますか。(なし)

それでは、「社会（地理的分野）」につきましては、全員が「帝国書院」を選んでおりますので、「帝国書院」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「社会（地理的分野）」につきましては、「帝国書院」にいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 続きます、「社会（歴史的分野）」についてです。発行業者は7者です。「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「山川出版」「日本文教出版」「育鵬社」「学び舎」でございます。

それでは、ご意見をお願いいたします。

飯島委員 歴史的分野ですけれども、一般に社会科と言われているもので「地理、歴史、公民」、それらに共通していることは、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家、及び社会の形成者として必要な能力を育成することを目指しております。私は「帝国書院」を推薦いたします。地理的分野でも述べましたように、「帝国書院」は、多面的・多角的な考察ができるよう紙面構成が豊かになっております。また、各章の間や学習課題など、まとめや振り返り活動を充実させるための工夫があります。また、社会科として学ぶのに分野ごとに違う発行者では、教える方も学ぶ方も余計に努力が必要な面があると思われまますので、同一発行者のものが好ましいと考えます。なお、「東京書籍」もよい教科書と評価いたしますが、審議委員会での意見の中に「写真と文字とがページにたくさんあり、情報量が多いと感じた」という指摘もあり、私も同様な印象を受けましたので、最終的に「帝国書院」の教科書を推薦したいと思います。

木原委員 私は「東京書籍」の教科書を推薦いたします。イラスト、写真、文字がバランスよく、わかりやすく構成されていると思います。導入から「まとめの活動」まで、流れに沿って進めるように構成されていて、「まとめの活動」で考えを深めることができるようになっていて、ため良いと思えました。また、「帝国書院」も地図、写真、イラストを用いていて、次によろしいのではないかと思います。以上です。

大津委員 私は「帝国書院」が良いと思いました。教科書の上段がイラストや写真、下段に本文、左右の端にコラムや囲みの説明文となっている構成で、とても見やすくなっていると感じました。また、コラムや囲みの説明も多く、本文だけでは得られない情報も多く掲載されていることと、わかりやすく興味を惹くような文章となっている点が良いと思いました。さらに写真や色遣いなども鮮明であり、写真やイラストも考えたサイズになっている点が評価となりました。以上です。

市村委員 私は「東京書籍」の教科書が良いと思いました。なぜ歴史を学ぶのかという点について、一番わかりやすい説明がされていると思ったからです。ただ、歴史を知るのではなく、私たちの未来に生かしていくために学ぶのだということを意識しているかどうかで、生徒の学びは大分違うものになるのではないかと考えています。新型コロナにより、学びの環境が普段と変わったことで、学校での学習時間が取れない期間、生徒たちは個々で教科書を読む機会が多かったと思います。そのような場面を考えたときに、その時代の様子や出来事の説明がわかりやすくまとめられていること、説明に沿った図版やデータがバランスよく掲載されていることを考えて選びました。以上になります。

岩本教育長 最後に私から、「社会（歴史的分野）」でございますが、私は「東京書籍」を推薦させていただきます。理由につきましては、レイアウトがとても見やすく、本文の説明が簡潔です。歴史的な事象を多面的・多角的に考察できるよう複数の視点が書かれている点が良いと思いました。各地域の歴史については、各地域の歴史と比較できるように工夫されています。生徒の家庭学習に対しても配慮されていると感じました。

以上、ご意見をいただきましたけれども、これまでのご意見にご質問、また、追加のご意見等ございますでしょうか。（なし）

それでは、状況を申し上げます。「東京書籍」が3人、「帝国書院」が2人でございます。1人の差でございますけれども、「帝国書院」を選ばれました飯島委員のコメントの中に、「東京書籍」も評価するというふうなご発言もございました。そうしますと、総合的に見まして、4人の方が支持されているということから、「東京書籍」ということになろうかと思いますが、歴史的分野につきましては「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、「社会（歴史的分野）」につきましては、「東京書籍」ということにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

- 岩本教育長 続きます、社会科（公民的分野）についてです。発行業者は6者です。「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「日本文教出版」「自由社」「育鵬社」です。
- それでは、ご意見をお願いいたします。
- 木原委員 私は「東京書籍」を推薦いたします。「東京書籍」は、「公民学習の初めに」のページを設けて、学習の進め方を確認し、地理、歴史をもとに学習を進めていきたいと思いますという基本を確認した上で、第1章から第5章までの学習の進め方を示しているため、わかりやすいと感じました。これが良いと思った理由です。
- 大津委員 教科書のサイズや色遣い、分量等に大きな違いはないと感じました。その中で「帝国書院」は、各章や節の中に「アクティブ」というページがあり、課題を考えるつくりとなっています。その中に「技能をみがく」というコーナーがあり、ロールプレイングやイベントといった議論の仕方を学べるようになっている点は、将来、社会に出ても役立つものと考えられます。また、課題の設定もひとひねりされていて、さまざまな意見が出たり、議論が深まるのではないかと考えられる点で良いと思いました。
- 次点として、「東京書籍」を挙げたいと思います。「東京書籍」は淡い色遣いや写真やデータも上段に配置していて、本文とのバランスを考えたつくりで、見やすい点が挙げられます。また、「もっと公民」のページでは、現代が抱える特徴的な課題が載せられており、生徒に気づきを与えたり、より身近に感じられるのではないかと思います。以上です。
- 市村委員 私は「東京書籍」の教科書が良いと思いました。自分事としてとらえにくい国際社会の平和についての課題を親しみやすい例を使って考え、意見交換ができる工夫がなされていると思いました。グループ単位で取り組めるチャレンジ項目が多く、自分の考えや意見を発表する場、ほかの意見を受け入れる場がつけられるような構成になっており、人と協働して課題を解決していくという実社会に即した力が身につくのではないかと思います。また、ベンチャー企業やNGOを立ち上げて、国際的な活動をされている方々、介護の現場で働いている介護福祉士の方、日本の声優の方など、さまざまな活動をされている方の活動のきっかけや思いなどを知ることができるページがあり、これからどのように社会と関わっていくかを主体的に考えていく生徒たちにとって、とても参考になるのではないかと思います。
- 飯島委員 私は当初、この場で「帝国書院」を推薦したいと思っておりませんでしたけれども、少し考えを変えたいと思います。私が「帝国書院」を推薦した理由で一番大きいものは、発行業者が同じ方が先生方は教えやすいのではない

か、子どもたちも学びやすいのではないかと思っていましたけれども、「東京書籍」「帝国書院」については、共に優れた教科書であり、子どもたちが、現代社会について学ぶべきときに適切だと考えております。したがって、「帝国書院」と「東京書籍」の2者を推薦したいと思っております。

岩本教育長

最後に私からでございます。「社会（公民的分野）」でございますが、私は「東京書籍」を推薦させていただきます。理由につきましては、体験活動を取り入れるなど、実社会で活かせる知識として定着させる工夫がなされていると思っております。地理や歴史との関連も意識しており、SDGsなどの現代的な課題も多く扱う構成になっています。また、本文の説明が簡潔で、とてもわかりやすいと感じました。中学生の政治参加についての記述がある点もいいと思っております。以上でございます。

それでは、これまでのご意見に追加のご意見・ご質問はございますか。
(なし)

それでは、まとめます。「東京書籍」が3名、飯島委員は2つを選ばれましたけれども、「帝国書院」の方は1人と飯島委員の1票でございます。トータルいたしますと、総合的に「東京書籍」が多いということになるかと思っておりますけれども、「社会（公民的分野）」につきましては、「東京書籍」とすることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「社会（公民的分野）」につきましては、「東京書籍」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「地図」についてでございます。発行業者は2者です。「東京書籍」「帝国書院」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は「帝国書院」の教科書が良いと思っております。地図の種類や何の情報を得るために地図を見るかによって変わる要素の取り出し方などが説明されている「地図帳の使い方」ページがとてもわかりやすいと思っております。統計などのデータも2017年前後のものが多く、比較的新しく、現状に即したものになっています。各地域の特色ある伝統や行事、食文化などを知ることにより、より広い世界に目を向けるきっかけとなるのではないかと思います。以上です。

大津委員

対象が2者ということで、いずれかの選択になりますが、私は「東京書籍」を挙げさせていただきます。いずれの書籍も掲載内容に大きな違いは見受けられませんが、「東京書籍」は一般的な地図にこだわらず、世界が抱える現在の課題をSDGsを通じて整理されている点や、教科書内のイ

ンデックスが細かく色分けされていて、ページを開く際に調べやすくなっている点が挙げられます。また、掲載されているデータ量も多く、他教科の資料としても利用できるのではないかと思います。教科書のサイズが小さい分、若干、文字も小さくなっていますが、持ち運ぶのにも便利になっている点が利点と考えられます。他の教科の資料として使用する場合にも有効ではないかと思います。以上です。

飯島委員

私は「帝国書院」の地図帳を推薦いたします。色調がとても見やすく、私が知っている地図帳らしい地図帳という感想を持ちました。また、地図としても多面的な学習ができるようつくられていて、優れていると感じました。さらに小学校でも「帝国書院」の地図帳を使っていますので、子どもたちにとっては使い慣れた地図帳という印象を持ち、学習が進むのではないかと考えております。

木原委員

私も「帝国書院」の教科書が良いと思いました。帝国書院の地図は、地図が大きく、色調が見やすいこと、この点が優れていると思います。また、資料が豊富でテーマごとにまとめられており、良いと思いました。以上です。

岩本教育長

最後に私からです。地図でございますけれども、私は「帝国書院」を推薦させていただきます。理由につきましては、サイズが大判で見やすく、検索がしやすいというふうに感じました。最新のデータを使用し、社会的な事象を身近に感じやすく、広い視野で情報をとらえる工夫がなされています。統計データなどが豊富で、生徒の自主的な学習に役立つ構成になっているというふうに感じました。以上でございます。

ただいまのご意見に何かご質問、追加のご意見等ございますか。(なし)

それでは、状況を申し上げます。「帝国書院」が4人、「東京書籍」が1人ということでございますので、「地図」につきましては、一番人数の多い「帝国書院」とすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「地図」につきましては、「帝国書院」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「数学」についてです。発行業者は7者、「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「啓林館」「数研出版」「日本文教出版」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

飯島委員

数学の授業では、日常生活に関連した事柄や自然的、社会的な事象などを数学的に解釈したり、数学的に表現処理したりする技能を身につけるようにすること、また、事象を論理的に考察したり、簡潔明瞭、的確に表現

する力を養うことが大切です。数学の教科書を各者、見させていただきましたが、難易度という観点で言えば、全者とも似たり寄ったりで、ほぼ同じと言えらると思います。特に高学年で学ぶ数学は大変難しいという印象を受けました。また、巻末の付録を使って数学的な活動ができるように各者とも工夫がされていました。

「東京書籍」の教科書ですけれども、例題と同じような問題には問題番号の横に星印（◆）をつけているので、教える側は教えやすくなったという印象を持ちました。また、以前の教科書は、「たしかめ」と「問題」という二重構造になっていたものが「問題」に統一され、使い勝手がよくなっているという印象を受けました。

一方、「教育出版」は、例題と問題の間の接続もよく、学校の調査・まとめに記載があるように、「各章の導入の内容がわかりやすい」「既習事項の確認が教科書を読みながらできる」という点で、教えやすいという特徴があります。学校の希望についてですけれども、随分意見が分かれているなという印象を持ちました。私は「東京書籍」と「教育出版」の2者から1者を選ぶとすると、付録の中に方眼紙がついているのが「教育出版」でございます。1年生から3年生までついております。方眼紙というのは、関数領域で使うのですけれども、子どもたちがよく忘れてたりしますので、そういうときに付録のところを切り取って使えるという利点が1つあるなと感じます。それから基礎的な知識や技能を身につけるための工夫があるということで、最終的に「教育出版」を推薦したいと思います。

大津委員

「数学」については、各者とも掲載内容はほぼ同じであり、どの教材を使用しても大きな違いはないように感じられました。私はその中で「東京書籍」を選ばせていただきます。「東京書籍」は1年で、小学校で学んだ基本から丁寧に解説されていて、小学校で算数を十分に理解できなかった生徒でも、数学を改めて学び直しができるのではないかと感じた点や、各学年の教科書の中で各章ごとに「深い学び」のコーナーを設け、その章で学んだことがより深くできるようにしている点や、巻末には「大切にしたい見方・考え方」を設け、その教科のポイントとなる考え方を再度繰り返すことで、理解が進むようなつくりになっている点が良いと思いました。以上です。

木原委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。「東京書籍」は教科書全体の印象が見やすく、文章や図、余白のバランスが良いと感じました。

一方、「教育出版」もわかりやすさという点では同様で、2番目に良いと挙げております。以上です。

市村委員

私も「東京書籍」の教科書が良いと思います。木原委員のご発言にもご

ざいでしたが、全体のデザインと構成が非常に見やすいものになっていると思いました。基本的にはパステルの淡い色使いになっていますが、重要な部分については、少し濃いめの色で強調されているため、目に留まりやすいです。各章の導入部分では、日常生活で使っているものや出来事を例に挙げており、学ぶ内容が身近で、活用できるものとして考えることができるのではないかと思います。巻末にある「数学の自由研究」や「補充の問題」は、自ら学ぶきっかけづくりにもなるのではないかと思います。以上です。

岩本教育長

最後に私でございます。「数学」でございますが、私は「教育出版」を推薦させていただきます。理由につきましては、基礎的な知識、技能を身につけるための工夫や配慮が見られます。複数の解法を扱い、多面的・多角的な学習ができるよう工夫されている点が良いと思います。図形の証明については、記述が丁寧でわかりやすいと感じました。また、実生活との関わりを意識できる題材が用意されており、数学的な見方や考え方が身につくと考えました。以上でございます。

これまでのご意見に何かご質問や追加のご意見がございますか。(なし)

それでは、状況を申し上げます。「東京書籍」が3人、「教育出版」が2人、1票差でございますけれども、飯島委員のご発言の中に「東京書籍」と「教育出版」を迷った末、「教育出版」というふうな発言がございました。そうしますと、十分に「東京書籍」も評価されているということからしますと、「東京書籍」を4人の方が支持されているというふうにとらえまして、「数学」につきましては、一番人数の多い「東京書籍」ということでよいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「数学」につきましては、「東京書籍」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「理科」についてです。発行業者は5者、「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「啓林館」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

大津委員

各者とも色使いや写真など工夫されていると感じましたが、このような中で「啓林館」は次の点が良いと思いました。1つは「学習のまとめ」が章の終わりにあり、その章で学んだことをわかりやすく振り返ることができるようになっている点が挙げられます。2つ目は、同様に「力だめし」のコーナーでは、学んだことが理解できたかどうかを確認できるようにしている点、また、「科学コラム」では本文以外のさまざまな情報が得られるようにしている点、中でも「お仕事ラボ」では、関連した職業を紹介し

ているなど、1冊の中にさまざまな情報が載っており、探究心を養う助けになったり、将来の目標に向けて可能性を広げることに役立つと感じた点です。以上です。

市村委員

私は「大日本図書」の理科の教科書が良いと思いました。新江の島水族館や片瀬海岸など、藤沢の生徒にとって身近な場所が取り上げられているのは、より深い学びのきっかけとなるのではないかと思います。実際に行ってみるという点では、博物館やジオパークの紹介も良いと思いました。また、教科書内各所にある「思い出そう」という項目では、そのページに関連するこれまで学んだことの要点が記載してあり、該当ページの学習をスムーズに進めることができるのではないかと思います。以上になります。

木原委員

私は、「理科」はどの教科書も課題を明確にし、結論へ導く過程がわかりやすく書かれていると思いました。その中で「大日本図書」は、写真の量やレイアウトが適切で、わかりやすく優れていると感じました。また、「やってみよう」「思い出そう」など、考えを導く工夫があり、さらに「探究活動（課題を見つけて探求しよう）」のコーナーを設け、思考を深め、実験や研究への興味や意欲を引き出す工夫があると思いました。以上です。

飯島委員

私は「大日本図書」を推薦します。理科の各者の教科書を眺めていて、印刷技術の向上の素晴らしさを感じました。まるで一昔前の図鑑を眺めているような感覚で教科書を見ておりました。そして各者とも考えさせるための工夫があり、それほど大きな違いはないと感じました。ただ、「大日本図書」は、問題解決の流れが明確で、学習の流れが比較的わかりやすいことが挙げられます。例えば各節の初めに「動物のつくりには、どのような特徴があるだろうか」等の設問が設けられていて、課題解決的な学習に適していると思いました。また、写真や図版と本文とのバランスが良く、見やすいと感じました。

岩本教育長

最後に私でございます。「理科」でございますが、私は「大日本図書」を推薦させていただきます。理由につきましては、実験の説明が丁寧で、生徒が自ら学ぶことができる内容になっています。写真が多く掲載されており、日常生活とのつながりを認識しやすい工夫がなされています。身近な事象を題材にした実験や観察などを多く扱っており、理科への興味・関心につながる構成になっています。現代的な課題のSDGsなども取り上げているところが良いと思いました。以上でございます。

これまでのご意見に何かご質問・ご意見はございますか。(なし)

それでは、状況を申し上げます。「大日本図書」が4人、「啓林館」が1人です。ということで、「理科」につきましては、一番人数の多い「大日

本図書」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「理科」につきましては、「大日本図書」といたします。

会議の途中ではございますが、ここで約 10 分間の休憩を取りたいと思います。この部屋の時計で 3 時 05 分まで休憩といたします。

傍聴の方におかれましては、会場を出る際は傍聴券を携帯してくださいますようお願いいたします。再入場の際に傍聴券を確認させていただきます。

それでは、これより休憩といたします。

午後 2 時 55 分 休憩

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

午後 3 時 05 分 再開

岩本教育長 それでは、会議を再開いたします。

続きまして、「音楽 (一般)」についてです。発行業者は 2 者、「教育出版」「教育芸術社」です。

ご意見をお願いいたします。

木原委員 私は「教育芸術社」の教科書を推薦いたします。「教育芸術社」の教科書は親しみやすい曲の紹介、合唱、鑑賞、日本の雅楽、箏曲と分冊の教科書の順序は同じ構成になっていて見やすいと感じました。また、よく知られている音楽家のインタビューに始まることで生徒の興味を惹き寄せ、音楽への興味と関心を抱かせるようなつくりとなっていると思います。教科書全体の構成、用いられている写真は、固くなく親しみやすく、印象的なものが選ばれていると感じました。以上です。

市村委員 私も「教育芸術社」の教科書が良いと思います。ユニバーサルデザインを取り入れていて、とても見やすくなっています。また、教科書が非常に軽いので、持ち運びがしやすいと思いました。伝統としての音楽、表現としての音楽、また、好きな音楽をプレゼンすることによる音楽を通したコミュニケーションなど、あらゆる視点で音楽を学ぶことができる教科書だと思います。選曲についても国内外問わず、幅広い時代や背景のものが取り上げられており、バランスが良いと思いました。

大津委員 私は、「音楽 (一般)」では「教育芸術社」が良いと思いました。「教育芸術社」は、巻頭に近いページで学習内容が載っていて、各学年で何を学ぶかが整理され、わかりやすくなっている点が挙げられます。具体的には表現と鑑賞を学ぶために、どの教材が表現を学び、どの教材が鑑賞を学ぶのかがまとめられていて、教える側も学ぶ側も活用しやすいのではないかと。また、巻末の「音楽の約束ページ」に掲載されている内容

についても、基本的な音楽記号や用語だけでなく、五線譜のことや音符、休符のこと、拍子記号や和音、コードネームなどがわかりやすく紹介されているなど、音楽を苦手とする生徒にも、わかりやすく載っている点が挙げられます。以上です。

飯島委員

私も「教育芸術社」の教科書を推薦したいと思います。子どもたちが音楽活動を通して情操を豊かにする、そういうような教科書のつくりになっていると思います。また、発達段階を踏まえて編集されているので、子どもたちにとって、とても活用しやすいこと、また、教科書の指導の流れが工夫されているので、先生方にとっても、とても指導しやすい教科書だと思いました。

岩本教育長

最後に私でございます。「音楽（一般）」につきましては、私は「教育芸術社」を推薦させていただきます。理由につきましては、学習の目標や目的がわかりやすく、学年に応じて学習の積み重ねができるように、教材が配置されています。鑑賞だけでなく表現についてもワークシートが用いられ、主体的、対話的な学びができる工夫がなされています。地元の歌である「浜辺の歌」が辻堂海岸の写真とともに取り上げられています。また、著作権についての記述もあることが良いと思いました。以上でございます。

さまざまご意見をいただきましたけれども、ご質問、追加のご意見はございますか。（なし）

それでは、「音楽（一般）」につきましては、全員が「教育芸術社」を選んでおりますので、「音楽（一般）」につきましては、「教育芸術社」ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、「音楽（一般）」につきましては、「教育芸術社」にいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「音楽（器楽合奏）」についてです。発行業者は2者、「教育出版」「教育芸術社」です。

ご意見をお願いいたします。

市村委員

「音楽（一般）」と同じく「教育芸術社」の教科書が良いと思いました。リコーダーに始まり、ギターや箏、打楽器など多くの楽器についての丁寧な説明があり、個人でも取り組みやすいようになっています。姿勢や構え方、持ち方については、何枚もの画像を使って説明されており、わかりやすいように工夫がなされていると感じました。MONGOL800さんの「小さな恋の歌」等の身近なアーティストの曲などは、生徒も親しみを感じられると思います。以上になります。

木原委員 私も「教育芸術社」の教科書が良いと思いました。器楽の教科書は音楽の教科書と同様に、音楽家のインタビューに始まり、興味を惹き出しやすいと感じました。また、それぞれの楽器の演奏の仕方について、写真と図、文章での解説はとてもわかりやすく、丁寧にされていて、教えやすいのではないかと思います。以上です。

大津委員 2者からの選択になりますが、教科書のサイズや情報の量などを比較してみても大きな違いはないように感じました。教科書内ではさまざまな楽器の演奏を紹介していますが、「教育芸術社」は、演奏の仕方などを写真とイラストを上手に組み合わせて表現しているため、とても見やすく、わかりやすくなっていることが挙げられます。例えば巻末のギター、キーボードのコード表でもそれぞれに掲載がありますが、「教育芸術社」は写真ではなく、日々のイラストにより表現することで、写真より見やすくなっています。以上のような点から「教育芸術社」を薦めたいと思います。

飯島委員 私も「教育芸術社」を推薦したいと思います。音楽の先生が「音楽（一般）」、それから「音楽（器楽合奏）」と2種類の教科書を使って指導するわけです。そうしますと、同じ発行者のものであれば、生徒にとっては使いやすい教科書、先生方にとっては教えやすい教科書と言えるのではないかと思います。

岩本教育長 最後に私でございます。「音楽（器楽合奏）」でございますが、私は「教育芸術社」を推薦させていただきます。理由につきましては、文字の大きさや配置のバランスが良く、生徒にとって理解しやすいと感じました。図や絵が多く取り入れられ、生徒が興味を持って学習に取り組める構成になっています。音楽文化の理解について違いが明確にわかるような工夫がなされています。また、ユニバーサルデザインに配慮された内容になっている点がとても良いと思いました。以上でございます。

これまでのご意見に何かご質問・ご意見がございますか。（なし）

それでは、「音楽（器楽合奏）」でございますが、全員が「教育芸術社」を選んでおりますので、「音楽（器楽合奏）」につきましては、「教育芸術社」ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、音楽（器楽合奏）につきましては、「教育芸術社」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 続きまして、「美術」についてでございます。発行業者は3者、「開隆堂」「光村図書」「日本文教出版」です。
それでは、ご意見をお願いいたします。

飯島委員

「美術」の教科書でございますけれども、私は大変素晴らしい教科書であると思います、印刷技術の発達、それから紙の質が良いということで、美術書を見る思いで拝見しました。中学生の子どもたちが本物に近い美術を鑑賞できる、創作活動のための参考として十分価値のある写真、図版等が取り入れられているということで、3者それぞれに工夫がされているということに感心いたしました。

その中で1つを挙げるとすると、私は「日本文教出版」を推薦したいと思います。「日本文教出版」の教科書は、調査資料や審議のまとめでも触れられていますけれども、高精密の印刷、原寸大の図版など、教科書自体が鑑賞に耐え得る価値を持っていること、題材のすべてにどのように工夫されているだろうかなどの吹き出しを出して、学習する上で自然に造形的な視点を身につけられるような工夫があることです。以上の観点から私は「日本文教出版」を推薦いたします。

木原委員

私はどの教科書も良いと思いましたが、その中で「光村図書」が良いと思えました。「光村図書」は美術とは何か、美術で学ぶことは何かなど、導入が丁寧で、わかりやすいと思えました。見出し、テーマが明確で、テーマは順序よく並べられており、生徒たちの興味と関心を引き出しやすく、また広げやすいと感じました。また、用いられている作品は文字とのバランスもよく見やすいと思います。美術作品を鑑賞し、個々の作品の表現を学び、さらに身近なところで用いられているデザインなどに注目し、作品の持つさまざまな役割や働きに目を向けていくプロセスが自然で、かつ深い学びになると感じました。以上です。

市村委員

私は「日本文教出版」の教科書が良いと思います。少し大きめな教科書であるものの薄く、軽いつくりとなっており、大きく掲載された数々の作品が細部までよく鑑賞できるため、生徒の興味をより惹くことができるのではないかと思います。また、著名な作家だけではなく、生徒作品も多く掲載されているため、作品づくりの参考になると考えます。美術の系統や時代の歩みがよくわかる構成になっており、現代の新たな表現方法についてもしっかりと掲載されているため、生徒の表現の幅が広がると感じました。

大津委員

中学3年間で触れる美術の時間は、生徒それぞれの将来の芸術や美術作品への感じ方に大きな影響を与えるものと考えます。この点を踏まえ、教科書が鑑賞と創作がわかりやすく示されているかなどの視点で見ました。鑑賞では美術として掲載されている作品が多岐にわたっている方が、生徒の個性や好みの中から作品への興味や創作への意欲につながっていくものと思います。「日本文教出版」は、最近の芸術的な作品を幅広くとらえ、

アニメからポップアートの作品まで取り扱っており、好ましいと感じました。また、作品やページごとに記される学びの目標が細かく記されていて、どのような視点で見たら良いかわかりやすく載っている点も良いと思いました。創作的視点で各者ともわかりやすいイラストや写真により掲載されていて良いと思いました。このようなことから、私は「日本文教出版」が良いと思います。

岩本教育長

最後は私からでございます。「美術」でございますが、私は「日本文教出版」を推薦させていただきます。理由につきましては、生活や社会の中の美術や美術文化に関わる内容が多く、美術とのつながりに目を向けられる工夫がなされています。学びの目標が明確にされており、表現と鑑賞がしっかりと区別されている構成なので、生徒は取り組みやすいと思います。掲載されている写真が大きく、鑑賞の授業において活用しやすいというふうに感じました。以上でございます。

それでは、これまでのご意見に何かご質問や追加のご意見がございますか。(なし)

それでは、選ばれた状況について申し上げます。「日本文教出版」が4人、「光村図書」が1人です。ということで、「美術」につきましては、一番人数の多い「日本文教出版」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「美術」につきましては、「日本文教出版」ということにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

続きまして、「保健体育」についてです。発行業者は4者、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「学研教育みらい」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

大津委員

「保健体育」については、各者とも教科書のサイズと分量等に大きな違いはなく、いずれもよくできていると感じました。その中で、私は「学研教育みらい」が良いと思っています。学研は各章の項目ごとに「学習の目標」、「課題をつかむ」、そして最後に「まとめる・深める」で終わる構成になっていて、先生にとってもまた生徒にとっても授業を進める手がかりが得やすいと感じました。また、コラムが関連するページに掲載されていて、わかりやすい表現になっている点も良いと感じました。さらにLGBTの説明もあり、性の多様性について触れられているなど、現在において、ふさわしい内容になっていると感じた点です。以上です。

市村委員

私は「大修館書店」の教科書が良いと思います。金澤翔子さんの「共に生きる」という言葉とともに、「国を越えて・障害の有無を超えて・つら

い体験を乗り越えて、共にわかりあい・支えあおう」というテーマは、非常に重要であると思います。あらゆる側面から心と体の健康について、自分事としてとらえることができる構成になっていると思いました。特に今は新型コロナウイルスによる感染症の問題が起きているため、感染症の予防と健康を守る社会の取組については、生徒だけではなく、大人も正しい知識を身につけていかなければいけないと思いますが、その点についても基本的なことがしっかりと記載されていると感じました。

木原委員

私は「大修館書店」が良いと思いました。この教科書は、第1ページからの導入部分はテーマ別の写真で構成されていてわかりやすく、教科書の使い方、保健体育の学び方の説明は、見開き2ページを利用して、横に進むため、わかりやすく丁寧だと思いました。本文の写真とイラスト、文字のバランスが良く、読みやすく説明が明確であると思いますので、推薦いたします。

飯島委員

私も「大修館書店」を推薦したいと思います。保健体育ですので、保健分野と体育分野についての知識の理解、学習ができるような教科書になっております。保健体育の授業は、グラウンド、体育館等で体を動かすもののほかに教科書を使った学習があります。そういうようなことで、子どもたちの学びの定着が図れるような教科書が私は優れていると思います。そういう意味で「大修館書店」は、章の最後に設けられている「章のまとめ」を使って学習の学びの定着が図れるというふうに考えます。また、説明がコンパクトにまとめられていること、資料、図や写真が見やすい位置に配置されていることなども、とても良いと感じました。

岩本教育長

最後は私からでございます。「保健体育」でございますが、私は「大修館書店」を推薦させていただきます。理由につきましては、イラストや写真が多く掲載されており、生徒がイメージしやすい構成になっています。健康や安全についてしっかりと押さえられている点が良いと思います。資料や情報が見やすく、最新のデータとなっているので、活用しやすいと感じました。生徒自身の経験を振り返って考えることで課題解決に役立つ内容になっていると思いました。以上でございます。

それでは、これまでの委員の皆様のご意見に何かご質問、追加のご意見がございますか。(なし)

それでは、選ばれた状況について申し上げます。「大修館書店」が4人、「学研教育みらい」が1人です。ということで、「保健体育」につきましては、一番人数の多い「大修館書店」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「保健体育」につきましては「大修館書店」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 続きまして、「技術・家庭（技術分野）」についてでございます。発行者は3者、「東京書籍」「教育図書」「開隆堂」でございます。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員 私は「東京書籍」の教科書が良いと思います。「技術は夢をかなえるためにある」、これは非常に重要なワードだと思います。実社会では多くの場合、1人で技術開発を行うのではなく、多くの人が協働することによってなされるものであると思いますが、求められているものは何か、どのような結果をもたらすのか、安全性や環境への影響はあるかなど、携わる者の間で共通理解を築く必要があります。そのためにプレストをしたり、ニーズを探ったりという必要があるわけですが、これらを生徒同士で行えるような構成になっていると感じました。また、情報を取り扱うに当たっての情報モラル、情報セキュリティに対してもしっかりと記載されており、日常生活にも役立てることができると感じました。

大津委員 「技術」については、3者とも分量やサイズ、掲載されている章立ても同じ内容となっていて、大きな差はないように感じました。しかし、各者とも材料の加工や改良については掲載しているものの、その材料が与える環境課題等については、余り触れられていないと感じました。神奈川県では「プラごみゼロ」の宣言を行っており、藤沢市でもこの考えに賛同し、取組を進めているところです。このような視点で見た場合、「開隆堂」はプラスチックと環境汚染について「探究」のコーナーで取り上げているなど、神奈川県や藤沢市の取組とつながるものがあるというふうに感じ、良いと感じました。

木原委員 私は「東京書籍」は「技術」を分野別にくくり、教科書の各ページに色別、帯状に見出しをつけているために、思考に統一感が生じ、見やすく理解しやすくなっていると感じました。各分野にさまざまな技術が使われているということを理解しやすく、興味を引き出しやすく構成されていると思います。また、イラスト、写真は的確で見やすく、「東京書籍」を推薦いたします。

飯島委員 私も「東京書籍」を推薦したいと思います。「技術」は知識、理解もさることながら、実習に重きを置かれている教科書でございます。そういう観点で見ますと、実習についての記述が詳しく書かれている教科書、それが「東京書籍」だと考えます。また、「学習のまとめ」についても適切で、知識・理解についての学習にも適していると感じました。

岩本教育長 最後に私からでございます。「技術・家庭（技術分野）」でございますが、私は「東京書籍」を推薦させていただきます。理由につきましては、基礎

的知識や技能の習得がしやすい構成になっています。身の周りにある技術について扱い、生徒の興味・関心を高めることができる構成です。また、過去の技術や最新の技術から課題を見つけ出し、解決する学習ができるよう工夫されている点が良いと思います。情報モラルに関する事例も多く取り上げられている点が良いと感じました。以上でございます。

これまでの各委員のご発言に何かご質問、追加のご意見はありますか。
(なし)

それでは、委員が選ばれた状況を申し上げます。「東京書籍」が4人、「開隆堂」が1人です。ということで、「技術・家庭（技術分野）」につきましては、一番人数の多い「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「技術・家庭（技術分野）」につきましては、「東京書籍」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 続きまして、「技術・家庭（家庭分野）」についてでございます。発行業者は3者、「東京書籍」「教育図書」「開隆堂」でございます。

ご意見をお願いいたします。

木原委員 私は「東京書籍」が良いと思いました。「東京書籍」は家庭分野のガイダンスに始まり、「自ら生活をつくる」のタイトルで食・衣・住を、「生活者として意思決定する」のタイトルで消費生活と環境について、「ともに生きる」のタイトルで家族、地域との関わりについて学んでいくようになっています。それぞれの学習内容は的確に分類されて進められるため、多岐にわたる内容が見やすく、学びやすいと思いました。また、写真とイラストのバランスが良く、読みやすいと感じ、良いと思いました。

市村委員 私も「東京書籍」の教科書が良いと思います。採択審議委員会の委員さんの意見にもありましたが、1日に必要な食品の種類と概要について、食品が実物大で掲載されているので、普段、調理をされない生徒の場合でもイメージしやすいのではないかと思います。持続可能な社会を目指すという点では、家庭分野は関わりの深い部分だと思いますが、衣・食・住の中で意識して取り組めるような工夫がなされていると思いました。

飯島委員 私も「東京書籍」を推薦したいと思います。技術分野と同様に実習をする上でとてもよく工夫されていること、それから知識、理解、技能の習得に関して記述が優れていること、その2点でございます。

大津委員 私も「東京書籍」が良いと思いました。「東京書籍」は、家庭分野では学ぶ目的を初めにガイダンスという形で記載していて、教科を進める上でわかりやすいこと、また、自立と共生を学びますが、例えば自立と共生の

説明が、ほかよりわかりやすい言葉で書かれていること、学習のまとめが教材の構成ごとであり、知っているか知らないかをチェックするのではなく、できたかできないか、取り組んだか取り組めなかったかなどの自己評価方式となっていて、取り組むことが重要と考えられるよう工夫されている点が評価できる点と感じました。

岩本教育長

最後に私からでございます。「技術・家庭（家庭分野）」につきましてでございますが、私は「東京書籍」を推薦させていただきます。理由につきましては、文章や写真のバランスが良く、理解しやすい構成になっています。生活の中の課題やより良い生活にするための課題について考えられるよう工夫されています。知識や技能についての情報が豊富で、授業で活用しやすいと感じました。現在の社会情勢に対応した内容になっており、日常生活に活かすことができると思いました。以上でございます。

これまでのご意見に対してご質問、ご意見で追加がございますか。（なし）

それでは、「技術・家庭（家庭分野）」につきましては、全員が選びました「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、「技術・家庭（家庭分野）」につきましては、「東京書籍」といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

続きまして、「英語」についてです。発行業者は6者、「東京書籍」「開隆堂」「三省堂」「教育出版」「光村図書」「啓林館」です。

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

私は「三省堂」の教科書が良いと思いました。聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの構成がしっかりしており、すべての技能を体系的に学べると感じました。1年生の教科書の付録に、教室での先生とのやり取りでよく使われる表現が32パターン載せられており、授業を始めたばかりの1年生にとってはよいのではないのでしょうか。国際理解を深められるような題材が多く、また、逆に、日本の文化を紹介するような題材もあるため、実生活での英語の活用に生きてくるのではないかと思います。

大津委員

「英語」につきましては、次の点から「東京書籍」を選びました。教科書のサイズが他者より大きくなっていることで、活字の大きさや写真、イラストも見やすい大きさにバランスよく配置されていること、英語を学ぶ意味や進め方がわかりやすく巻頭で整理されていること、「聞く、話す、書く、読む」のバランスを考えたつくりになっていること、また、各項ごとに出てくる新しい単語が、淡い色使いで項ごとにまとめられていて、見

やすいことなどが挙げられ、良いと思いました。

次点として「三省堂」を挙げておきたいと思います。「三省堂」は、サイズは「東京書籍」より小ぶりになりますが、イラストも可愛らしく、見やすいと感じました。また、概ねレッスンごとにある「テイクアクション」や「ゲットプラス」で、生活をする上で実際にありそうなテーマや題材を選んでいるため、日々の何気ない場面で英語が役立つのではないかと感じた点からです。以上です。

木原委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。「東京書籍」は、登場するキャラクターが日常生活を通じて英語に親しみ、学びを進める構成で、平易でわかりやすい進め方となっていると思います。イラストと文字の構成や大小のバランスがほどよく、落ち着いていて見やすいと感じました。解説の量が適切で、生徒の理解を助けやすいと思います。以上です。

飯島委員

私は英語科の教科書を見まして、「三省堂」と「啓林館」が共に優れていると思いました。特に「啓林館」はシチュエーション、状況設定が明確かつ自然で、とても工夫されていると思いました。また、紙面構成もシンプルで学びやすいと思いました。そして二次元コードの内容も文字を見ながら聞くことができ、自学自習に適していると思いました。

一方、「三省堂」は二次元コードについては同じですけれども、音声と対応した文字が表示されていないので、中学生には少し難しいなと思いました。以上の点で、私は最終的に「啓林館」を推薦したいと思います。

岩本教育長

最後は私からでございます。「英語」でございますが、私は「三省堂」を推薦させていただきます。理由につきましては、文章の量が適当であり、図やイラストが見やすく、全体的にシンプルな構成になっています。扱っている題材が日常生活だけでなく、多岐にわたり国際理解などの学習にも役立つ構成になっています。「書く・聞く・話す」に加えて、やり取りを大変重視した構成になっている点がとても良いと感じました。以上でございます。

これまでのご意見にご質問、追加のご意見はございますか。(なし)

それでは、状況を申し上げます。「東京書籍」が2人、「三省堂」が2人、「啓林館」が1人となります。3つに割れておりまして、過半数を上回りませんので、本来ならば、決戦ということになるかと思っておりますけれども、「啓林館」を選ばれました飯島委員は、「三省堂」も評価をされているということがございます。それから「東京書籍」選ばれました大津委員も次点ということで「三省堂」を支持されています。そうしますと、「東京書籍」と「三省堂」の二者択一ということになりますが、「啓林館」を選んでおられる飯島委員が「三省堂」を支持されているということから、「三

省堂」が4人の委員から支持をされていると理解することができると思いますので、「英語」につきましては、「三省堂」を選ぶということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、総合的に判断いたしまして、「英語」につきましては、「三省堂」としたいと思います。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 続きまして、「道徳」についてです。発行業者は7者、「東京書籍」「教育出版」「光村図書」「日本文教出版」「学研教育みらい」「廣済堂あかつき」「日本教科書」です。

それでは、ご意見お願いいたします。

大津委員 私は「光村図書」を挙げさせていただきたいと思っています。「光村図書」は、道徳の入口となる学ぶ意味や、どのように学ぶかなどをわかりやすく丁寧に書かれていて、良いと感じました。また、シーズンごとに何を主眼に学ぶのかを記している点や、題材ごとに設定されている「見方を変えて」では、違う視点で考えるようになっていることで、そのテーマがより深められる点や「考えよう」では、その題材を考えるヒントなどもあり、教える側も生徒も学習がしやすいと感じました。また、字体やイラストの使い方も見やすく、サイズも小ぶりで、持ち運びの負担軽減にもなると思いました。以上の点から「光村図書」を選びたいと思います。

飯島委員 私も「光村図書」の教科書を推薦したいと思います。取り上げられている題材が非常に優れているということ、それから考えさせるための発問が適切であるということ、それらを通して考える授業が成立すると考えます。そして子どもたちにとっては、物事を多面的・多角的に考えるということに役立つと考えております。

市村委員 私も「光村図書」の教科書が良いと思います。どの学年も3つのシーズンに分かれており、その中で幾つかのユニットとしてテーマが分かれていることが、目次でわかりやすく説明されています。「広げよう」では、実社会に直面する環境や国際理解などのテーマで知識を広げ、「深めたいむ」では、前の時間に学習したことをある場面を例に挙げて、さらに考えを深める活動ができる工夫がなされています。先生、保護者向けにこの教科書が目指す各学年の姿が項目ごとに一覧化されており、授業を展開する際、及び家庭で話し合うときの目安になるのではないかと思います。

木原委員 私も「光村図書」が良いと思いました。道徳で何を学ぶか、どうやって学ぶかの説明が丁寧になされているため良いと思いました。「考えよう、つなげよう、見方を変えて」のフレーズで、一人ひとりが自分で考え、ま

た、自分の考えにとらわれずに、別の角度から見ることなどを学べるよう導いていますし、また「深めたいむ」では、それぞれ興味深いテーマに沿って、自分の意見をまとめたり、グループで意見を自由に述べ合う学びができるように工夫されています。また、用いられている教材は、どれも読みやすく、身近な題材をもとにつくられ、親しみやすいと感じました。

岩本教育長

最後は私からでございます。「道徳」でございますが、私は「光村図書」を推薦させていただきます。理由につきましては、日常生活につながるように配慮されています。自己を見つめ、他者との関係の中で考えを深めていく題材が多く掲載されています。さまざまな問題に対し、多面的な見方を引き出す工夫がなされている点が良いと思います。読み物として魅力的なものが多く、多様な価値観で話し合いができる題材が掲載されていると感じました。以上でございます。

これまでのご意見に対して何かご質問、追加のご意見はございますか。
(なし)

それでは、「道徳」につきましては、全員が選んでおります「光村図書」ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、「道徳」については、「光村図書」にいたします。

×××

岩本教育長

これで 16 種目すべての教科用図書について決定いたしました。

議案第 18 号「令和 3 年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」は、ただいま決定いたしましたように、「国語」は「光村図書」、「書写」は「光村図書」、「社会（地理的分野）」は「帝国書院」、「社会（歴史的分野）」は「東京書籍」、「社会（公民的分野）」は「東京書籍」、「地図」は「帝国書院」、「数学」は「東京書籍」、「理科」は「大日本図書」、「音楽（一般）」は「教育芸術社」、「音楽（器楽合奏）」は「教育芸術社」、「美術」は「日本文教出版」、「保健体育」は「大修館書店」、「技術家庭（技術分野）」は「東京書籍」、「技術家庭（家庭分野）」は「東京書籍」、「英語」は「三省堂」、「道徳」は「光村図書」、これらを採択するということがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

岩本教育長

それでは、議案第 18 号「令和 3 年度使用藤沢市立中学校用教科用図書の採択について」は、ただいま申し上げた 16 種目の教科用図書を採択いたします。

÷÷÷

岩本教育長

次に、議案第 19 号「令和 3 年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校

若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について」を上程いたします。事務局の説明を求めます。

坪谷教育指導課長 議案第 19 号「令和 3 年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について」、説明いたします。令和 3 年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書については、教科書目録に登載されている教科書及び学校教育法附則第 9 条の規定による「一般図書」の中から採択することになっております。この後、ご協議いただきますが、採択に当たり、見本本のほかに、調査・研究をするのに参考としていただいた資料を確認させていただきます。

まず、文部科学省の「学習指導要領」、そして神奈川県教育委員会から示された「令和 3 年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点」でございます。

次に、市独自の資料ですが、教科用図書採択審議委員会からの「答申」のほか、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教員に調査研究させた「令和 3 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書」、また、今回、新たに教科書として希望のありました新規図書と複数種目で希望のありました図書の内容、また、児童生徒の特性を踏まえた選定理由等についてまとめました「令和 3 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。

それでは、提案理由等を説明いたします。この議案を提出いたしましたのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同法施行令第 15 条並びに学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定により、採択する必要があるものです。

学校教育法附則第 9 条の規定による「一般図書」につきましては、文部科学省初等中等教育局教科書課長通知を参考にして、児童生徒の障がいの種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容であることや、体系的に編集されていること。他教科の図書等との関連性も考慮すること。高額なものに偏ることがないようにすること。さらに採択した図書が完全に給付される見込みがあることなどに留意して審議することとしております。

採択する教科用図書につきましては、令和 3 年度使用藤沢市教科用図書の採択方針に基づき採択日程に沿って、特別支援学校長及び特別支援学級設置校長による調査研究、審議委員の委嘱又は任命、教育長による審議委員長への諮問を経て、第 3 回藤沢市教科用図書採択審議委員会におきまし

て審議が行われました。その結果、昨年度まで採択されている「一般図書」は、来年度供給が困難なものを除き、引き続き使用できること。新規図書や複数種目で希望のある「一般図書」は、いずれも適切であることと考える内容が答申されております。

6 ページ以降 23 ページまでに記載されている「令和3年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」は、藤沢市で昨年採択された「一般図書」及び今年度新たに希望が挙げられた一般図書を一覧にしたものです。「新」と書かれたものは、藤沢市立学校において今回新たに希望が出されたもので、「□」印の書かれた図書は、複数の種目で希望が出されたものでございます。また、無印のものについては、昨年度、本市で採用されているもの、黒丸印（●）の書かれた図書は、その中で、来年度発行者による供給が困難となっているものでございます。

なお、23 ページにございますように、「点字教科書・拡大教科書」も学校教育法附則第9条による「一般図書」として給付の対象となります。また、本市の小中学校で採択されている検定済み教科書並びに星印（☆）本と呼ばれる特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書も給付の対象となり、これらの教科用図書の中から無償給付の対象となる特別支援学校における小・中学部及び小・中学校の特別支援学級の児童生徒1人に対して、種目ごとに適した教科用図書1冊が給付されます。

また、高等部においては無償措置の対象外となりますが、学校教育法附則第9条の規定による「一般図書」及び教科書目録に登載されている教科書を使用することになります。

議案書につきましては、4 ページに記載のとおりでございます。以上、よろしくご審議いただき、ご決定いただきますようお願いいたします。

岩本教育長

事務局の説明が終わりました。

それでは、これから協議をしてまいります。

まず、本市で昨年度までに教科用図書として採択されてきた図書については、来年度発行者による供給が困難な図書を除き、引き続き使用できることとし、今回新たに希望のあった図書と複数の種目で希望があった図書について協議をしていくということによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

協議の方法についてですけれども、6 ページのNo.1の「国語・書写」から 22 ページのNo.10「道徳」まで、一括して協議していくということでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、ご意見をお願いいたします。

市村委員

今回、協議の対象となっております 39 冊の図書について、すべて特別支援学校及び小学校・中学校の特別支援学級用教科用図書として適していると考えます。特性や発達の段階を考慮し、その児童・生徒に合ったものを給付するということになっておりますが、既に採択されている図書も含め、その幅が広がるラインナップになっていると思われました。今回、発行者による供給が困難となった図書が 32 冊ありますが、新たに希望が挙げられている図書で補えるようなものが多数ありました。また、主に家庭、職業家庭、道徳の種目になりますが、マナーやルールの本、生活の基本的なこと、1 年を通しての行事について学べるような本が多く挙がっており、これらは日常生活を送る上で、とても役立つものになるのではないかと思います。日常にあふれるマークの図鑑などは、子どもたちにとって身近なものであり、興味を持って学べ、役に立つと考えます。それぞれの図書の内容につきましては、採択審議委員会の委員の皆様の意見にもございましたが、1 ページの情報量が過多にならないような構成であったり、目に留まりやすい色使い、デザインがされていたり、工夫がなされている本が多いと感じます。このようなことからすべて採択して良いと考えます。

飯島委員

私も市村委員と全く同感でございます。特別な支援を必要とする子どもたちの障がいの程度、ニーズ、必要とする支援は、一人ひとり異なっております。したがって、その子に合った教育や指導、支援も一人ひとり異なっているはずで、そういう観点で考えると、いつも身近にいて教育を行っている先生方が、希望し、必要とするすべての書籍を教科書として採択するということは、とても妥当性が高いと私は思います。ほかの委員の皆様はいかがお考えでしょうか。

岩本教育長

皆様、よろしいでしょうか。

それでは、特別支援関係の教科用図書につきましては、一人ひとりの発達段階に合わせて教科書を選んでいくことが大切であるため、新規図書と複数種目での希望図書を含めた、すべての図書を教科書として採択することといたしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、ご異議がないようですので、議案第 19 号「令和 3 年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について」は、発行者による供給が困難となった図書を除き、「令和 3 年度使用藤沢市立特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」にあります、すべての図書を教科用図書として採択いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 次に、議案第 20 号「令和 3 年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採
択について」を上程いたします。事務局の説明を求めます。

坪谷教育指導課長 議案第 20 号「令和 3 年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択に
ついて」、説明いたします。(議案書参照)

この議案を提出いたしましたのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同法施行令第 15 条の規定により、小学校用教科用図書については、令和元年度採択と同一のものを採択する必要によるものです。

採択する小学校用教科用図書は、26 ページに記載のとおりでございます。議案書につきましては、24 ページに記載のとおりでございます。以上、よろしくご審議いただき、ご決定いただきますようお願いいたします。

岩本教育長 事務局の説明が終わりました。「令和 3 年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択」につきましては、事務局の説明にもありましたとおり、法令により、令和元年度と同じものを採択することとなっております。このことについて、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本教育長 それでは、ご異議がないようですので、議案第 20 号「令和 3 年度使用藤沢市立小学校用教科用図書の採択について」でございますが、令和元年度と同一のものを採択することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 以上で、本日の審議の日程はすべて終了いたしました。どうもありがとうございました。

午後 3 時 58 分 閉会